

# 洪水を速やかに日本海へ流下させる河川バイパス「北条川放水路」

令和4年8月  
鳥取県河川課

- 昭和62年台風19号では、県中部を中心に記録的な大雨となり、由良川・北条川流域で浸水家屋350戸（床上80戸、床下270戸）、浸水面積680ha、被害総額10億円に上る甚大な被害が発生した。
- 北条川のJRに並行する区間は、人家密集地と旧国道9号に挟まれており、河道拡幅には相当の期間を要することから、洪水を最短で日本海へ流下させるための放水路整備に平成4年度から着手し、平成21年3月に暫定断面での供用を開始した。
- 令和3年7月豪雨においては、昭和62年台風19号を上回る24時間雨量を記録したが、由良川を含めた家屋の浸水解消や浸水による通行止め時間の短縮など、北条川放水路や由良川下流の河川改修により一定の治水効果が発現された。



＜過去の浸水被害との比較：由良川・北条川流域全体＞

	昭和62年台風19号 (既往最大)	令和3年7月豪雨	備考
24時間雨量	292mm	351mm	観測史上最大の24時間雨量を記録
最大時間雨量	78mm	47mm	
浸水戸数	床上80戸、床下270戸	農地の浸水のみ	河川氾濫による家屋の浸水被害なし
道路浸水時間	2～3日(地元間取り)	1～2日	降雨時間が長かったが1～2日程度の浸水時間に留まった



出典：国土地理院 地理院地図(電子国土Web)

放水路整備前

放水路整備後



出典：国土地理院 地理院地図(電子国土Web)

出典：鳥取県立博物館所蔵資料を河川課で加筆

